

ロイター日本語ニュース



ロイター日本語ニュースは、世界各地の取材拠点から届く多彩な国際ニュースと日本国内の経済・金融・産業情報をきめ細かく、リアルタイムで市場参加者の皆さまにお届けしています。速報ニュースだけではなく、複雑化する経済事象をひもとく様々な分析記事や独自調査も提供しているほか、多様化する読者ニーズに合わせた新コンテンツも相次いで発信しております。

主なサービス内容

群を抜く速報力、相次ぐスクープ

財務相や日銀総裁会見をはじめとする重要な会見、GDPや日銀短観などの主要な経済指標を素早く速報します。そのスピードは多くのニュースにおいて他のメディアをリードしているほか、金融政策やM&Aなど重要ニュースを数多くのスクープを提供しています。ロイターの速報力は、マーケットの動向にも大きな影響を与えています。

他社を圧倒する海外ニュース、専門性にも強み

世界各地に広がるロイターの取材ネットワークから、時々刻々と届く国際ニュースを24時間切れ目なく日本語でお届けしています。米FRB議長の議会証言、ECB理事会など金融マーケットの注目している海外イベントだけでなく、中国、インド、中南米など新興市場の重要ニュースも豊富です。欧米社債ニュースやクレジット市場動向など、専門性の高い海外ニュースも強みのひとつです。

鋭いニュース分析

重要ニュースを速報するだけでなく、その影響や背景などを深く分析するコラムも豊富です。様々なニュース分析記事のほか、背景を資料的にまとめた「情報BOX」や外部専門家が寄稿する「インサイト」コラムも好評です。また、産業ニュースと株式分析を融合した「株式スコープ」などの新しい記事もスタートしました。

多角的なマーケット取材、市場コンセンサスをひと目で

金融市場レポートの中核となる「マーケットアイ」は、株式、外為のほか金利市場もカバーし、時々刻々と変化するマーケットの動きを関連ニュースとともにリアルタイムで報道します。GDPや日銀短観、鉱工業生産など大きな経済指標については多くの市場コメントを速報するほか、事前の市場予想なども提供。金融市場の動向とコンセンサスの動きを立体的に配信しています。

ロイター短観・各種独自調査

日銀短観の先行指標として高い評価を受けている「ロイター短観」、個人投資家の動向を毎月定期調査する「ロイター個人投資家調査」、東京、ロンドン、欧州大陸、ニューヨークの4拠点をベースにファンドマネージャーの投資計画を調べる「国際分散投資調査」など、ロイターでは市場参加者の意思決定に不可欠な多彩な市場調査を展開しています。



ロイター短観と日銀短観の変化

最近のコンテンツ強化

1. 海外クレジットニュースの大幅拡充 トピックコード [CDM-JFOR]

サブプライム問題で混乱する欧米クレジット市場の動向をいち早く伝えるべく、市場レポート 6 本を新設しました。これらは、日々の市場の状況を伝えるだけでなく、タイムリーな個別銘柄にスポットを当て、より具体的に詳細な情報が得られる内容になっています。

- ・ 欧州社債・CDS 市場 [EUBJ/]
- ・ 米社債・CDS 市場 [USCJ/]
- ・ 米 CDS 銘柄点検 [CDVJ/]
- ・ 米 MBS・機関債市場 [MTGJ/]
- ・ 米 ABS 市場 [ABSJ/]
- ・ 海外クレジットサマリー [NNJ/CR]

2. 為替レポートの強化

外為マーケットレポートの増強

一日 10 回程度の配信を 20 回程度に倍増、動きの激しい日には 30 回程度更新。

カバーする通貨も G10 通貨だけでなく、インドルピー、韓国ウォン、ブラジルリアル、南アフリカ・ランドなどに拡大

署名記事の強化

東京オリジナルの記事が月 5 本、海外翻訳記事が月 5 本のあわせて月 10 本の署名記事を配信、市場の隠れた話題も提供

3. 金利ニュースの新コンテンツ

「金利マーケットアイ」と「金利ウォッチャー」の配信開始

短期金融市場、債券市場、円金利スワップなどを横断的にカバーする形で金利ニュースを毎日 15 回程度更新。「金利ウォッチャー」は、市場が関心を持つ話題を単発記事として提供、1 週間に数本を配信しています。

4. 株式スコープの開始



株式スコープは、企業関係者からの取材だけで構成されているこれまでの既成の企業ニュースとは異なり、マーケットで交わされている話題やマーケットでの株価の動きなどから、企業の動向を分析するロイター独自のコンテンツです。

5. エマージングマーケット関連ニュース トピックコード [EMRG-INV]

エマージング関連のニュースを強化

地域的にこれまであまりカバーしていなかった BRICS (ブラジル、ロシア、インド、中国)、VISTA (ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)、MENA (中東・北アフリカ)、東欧のニュースや、新しいトピックである環境、資源などに関するニュース、日本ではあまり知られていないような新しい投資トレンドに関するニュースを配信しています。

6. ファンド関連記事の拡充

ファンドビューの拡充

競合他社を上回る国内のファンドビューやファンドの分析の配信。海外発のファンドビューを週に 3~4 本を配信。欧米のファンド情報

を広範囲にカバー。

ファンドニュースの強化

国内投資家のエマージング市場への投資状況をみることのできる BRICs (ブラジル/ラテンアメリカ、ロシア/東欧、インド、中国、BRICs 4 力国投資) ファンドの残高状況や資金流入状況などを月次で記事にしています。

7. ローン市場ニュースの増強

海外ローン市場ニュース (海外物) である LPC (Loan Pricing Corporation) 記事の翻訳を増強。毎日、リアルタイムでの翻訳ニュースと同時に、毎週一回、サマリーとして提供しています。

8. ロイター調査の拡充 ニュースコード [JPOLL/]

- ・ 投資家、企業、アナリスト、エコノミストなどを対象に、今後の見通しや景況感を問う様々な調査を実施しております。日銀短観の先行指標となるロイター短観 (ニュースコード [TAN]) のほか、以下のような定期調査を行っています。
- ・ 指標予測調査
- ・ ロイター個人投資家調査
- ・ ロイター国際分散投資戦略調査 (日本 [JP/GAA] 米国 [US/GAA] 欧州大陸 [EUR/GAA] 英国 [GB/GAA])
- ・ 指標先行予測
- ・ 百貨店売上サーベイ
- ・ 主要生保の資産運用計画調査
- ・ 緊急アンケート
- ・ 海外調査の翻訳 (ニュースコード [JPOLL-/JFOR])

9. 「金融規制フラッシュ」

金融庁、東証、日銀など金融監督行政による規制措置に関する発表を細かく速報。海外の動きも細かく報道します。

10. 「金融規制ウォッチャー」

金融規制の内容やその対象になる業界や企業などへの影響や反応などについて、上記の「フラッシュ」を補完する新コンテンツ。

11. 「ロイターIFR」エマージングマーケットニュース

IFR (International Financial Review) の新興市場ニュース (中国、インド、および中南米) の翻訳。

12. 地方債ニュースの大幅拡充

社債ニュースで提供している地方債情報を増強します。

ロイターニュースの概要

ロイターは 1851 年に設立された世界最大のニュース報道機関です。現在は世界 130 カ国、197 支局に 2400 人の編集スタッフを擁し、24 時間リアルタイムでニュースを配信。世界各地の報道ネットワークを通じて集められたニュースは、英語、日本語、ドイツ語など合わせて 19 言語で幅広く配信され、金融市場、新聞、TV、インターネットを通じて、毎日 10 億人がロイターニュースを利用しています。また、マルチメディア展開も積極的に推進、ロイター記者によるブログ、市場向けチャットルームなどのほか、双方向型のニュース TV 放送の実施も進めています。

お問い合わせ先：営業部 03-6441-1664

thomsonreuters.com

© Thomson Reuters 2009. All rights reserved. 49000026
トムソン・ロイターが事前に書面により承認した場合を除き、手段又はプロセス (フレーミング又はこれと同等の手段を含む) の如何を問わず、トムソン・ロイター・コンテンツを再発行又は再配布することは、禁止されています。Thomson Reuters (トムソン・ロイター)、Thomson Reuters (トムソン・ロイター) のロゴは、トムソン・ロイター及びその関連会社の商標であり、登録商標となっています。



THOMSON REUTERS™